



第38回徳島県音楽教育研究大会が本校で開催されました

11月21日(金)、徳島県音楽教育研究大会が県内外から160名を超える先生方を迎え行われました。研究指定を受け2年間、音楽教育の研究を進めてきました。集会活動は、4・6年生を中心に全校児童で、授業は1・2・3・5年が公開しました。

集会活動(メロディタイム)は、みかんをテーマにして、「しんかくん」というキャラクターが成長していくストーリーがありました。いつものように「かつうらみかんの歌」で入場し、「パブリカ」を元気いっぱい歌いました。その後は、各学年ごとに勝浦のよいところを紹介していきました。5年生は「秋祭りのだんじり」、1年生は「ホタル」、6年生は「勝浦座の人形浄瑠璃」、3年生は「みかん」、4年生は「やっこ連の阿波踊り」、2年生は「恐竜化石」を、それぞれ独自のリズム打ちをしながら紹介しました。みんながたくさん発表してくれたので、最後には「しんかくん」の体にいっぱいみかんが実りました。退場時には、参会者の皆さんにも「かつうらみかんの歌」を歌ってもらいました。

授業は、1年「歌唱」、2年「音楽づくり」、3年「鑑賞」、5年「器楽」の4領域で公開しました。どの授業も子ども達の音楽的感性を磨き、音楽体験を豊かにするすばらしい実践でした。

子ども達は、集会活動で大舞台を経験しました。深く研究された授業でも、堂々と意見を述べ、音楽表現ができました。集中した取組は、子どもたちの大きな成長につながったことでしょう。



清流苑訪問

〈クイズ〉3年生のじゅぎょうでは、「?ふきの休日」というきよくをかんしょうしました。金かんバンドぶにもあるがっきです。そのがっきはなんでしょう。

11月12日(水)、1年生が特別養護老人ホームのデイサービス「清流苑」を訪問しました。前に並ぶと、利用者や所員の皆さんが「かわいい」と大歓迎してくれました。子ども達は、「かつうらみかんの歌」を歌ったり、「月」の曲に合わせてお手玉演舞を披露したりしました。続いて、一緒に話をしたり踊ったりもしました。お年寄りの皆さんがうれしそうに子ども達の手を握り、微笑む姿がとても印象的でした。帰り際には、所員の方が施設見学や車椅子体験をさせてくれました。

